

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025/7/25

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
KBK株式会社  
代表取締役 樋山 慶次

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、  
事業者行動計画を策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	KBK株式会社 代表取締役 樋山 慶次
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	KBK株式会社 彦根工場					
事業所の所在地	滋賀県彦根市宮田町21番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※産業分類・細分類名称を記載 自動車部分品・附属品製造業
事業の概要	輸送用機械器具製造業自動車・同附属品製造業自動車部分品・附属品製造業					
従業員の数	80	人	作業時間	16	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	1	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	21	台
				照明設備	172	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2024	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了 年度	2028	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

### 1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

**環境方針**

1. 事業活動において生じる環境への負荷を抑制する為に、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善を図り、維持する。
2. 環境保全活動を適正に実施するために、環境に関する法令、条例及び当社が同意する業界基準、地域住民協定、顧客の特記仕様等の要求事項を遵守する。
3. 事業活動にあたって、資源及びエネルギーの有限性を深く認識し、それらを効率的に利用し、節約及びリサイクルに積極的に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努めます。
4. 社員一人ひとりが、環境保全活動の重要性を自覚し、社員全員で組織化して技術的・経済的に可能な範囲で継続的に取り組み、常に意識と知識の向上に努める。具体的には下記の項目を実施する。また、取引業者に対しても理解と協力を求める。

**1 資源の有効活用**

**2 リサイクルの推進**

**3 地球温暖化の抑止**

**4 地球環境の向上**

5. この環境方針は文書化し、組織で働くまたは、組織のために働くすべての人に周知するとともに、社外の要求に応じ当社ホームページにて公表する。

### 2 取組の推進体制

```

graph TD
    A[代表取締役] --> B[SDGs推進室  
室長]
    B --> C[SDGs推進室  
エネルギー消費削減委員会管理者3名]
    B --> D[事務局  
業務本部]
    C --> E[開発技術部]
    C --> F[品質保証部]
    C --> G[生産部]
    C --> H[業務統括部]
            
```

KBK彦根工場では資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、節約やリサイクルに積極的に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防を目的として、リアルタイムでの電力使用量やCO<sub>2</sub>排出量をモニタリングし改善活動を推進している。また推進の場としてSDGs推進室を組織内に設け各部門より推進委員(事務局メンバー)を設置している。

### 3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 在庫削減
  - ・適正在庫管理による製品製造により、生産にかかわる電力の削減を実施した。
- 稼働改善
  - ・生産設備の稼働効率を上昇させることで時間当たりの生産数を増やし電力削減を実施した。
- 品質改善
  - ・工程内不具合を減少させ、歩留まり率を向上させた。
- 待機設備
  - ・照明等に関し離席時の消灯、電源OFF等の運用改善を実施した。
- 設備投資
  - ・省エネ設備を率先導入及び組立部品の自動化設備を導入した。(生産設備、LED照明等)
- 技術開発・営業戦略
  - ・低燃費車両のCO<sub>2</sub>削減に寄与する先進部品開発技術の構築及び営業活動と量産化。(省エネ&生産性向上部品提案及び省エネ寄与機能部品の提案)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	建屋の断熱遮熱化による空調機効率の改善(事務棟)	2024年度～	2025年3月にて完了
2	設備導入	工場棟空調機を省電力化設備に更新	2025年度～	2025年8月完了予定
3	設備導入	省エネ設備の入替(プレス機)	2025年度～	2025年11月 3台
4	設備導入	キュービクル、コンプレッサーの更新及び配管更新	2025年度～	2025年予算計画より実施中
5	運用改善	再エネルギー電気購入	2025年度～	導入検証中

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガスの排出はございません。		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価																														
KBK株式会社 彦根工場は事業活動における中長期のCO <sub>2</sub> 排出量削減目標(実排出量ベース)を2030年度に2023年度比50%削減としています。下記計画に沿って、2030年度までに単年7.2%削減を目指します。 2020年度～2023年度に関しては、原単位(温室効果ガス排出量÷生産数量)で評価を行い取組を実施の上50%以上の低減目標を達成した。2024年度からは実排出量の削減に方針転換を行い活動を強化		当社彦根工場は2024年度に設備を2台増台及び生産量も約20%増量しているが、省エネ設備導入省エネ改善(待機電力削減)の成果もあり電力実使用量の低減に加えCO <sub>2</sub> 排出改善も目標値を役1%上回り成果を達成した、																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>CO<sub>2</sub>排出量の2023年度対比</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> <th>2027年度</th> <th>2028年度</th> <th>2029年度</th> <th>2030年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削減率</td> <td>目標 7.2%</td> <td>14.4%</td> <td>21.6%</td> <td>28.8%</td> <td>36.0%</td> <td>43.2%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>(実排出量)</td> <td>実績 8.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		CO <sub>2</sub> 排出量の2023年度対比	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	削減率	目標 7.2%	14.4%	21.6%	28.8%	36.0%	43.2%	50.4%	(実排出量)	実績 8.1%													
CO <sub>2</sub> 排出量の2023年度対比	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度																									
削減率	目標 7.2%	14.4%	21.6%	28.8%	36.0%	43.2%	50.4%																									
(実排出量)	実績 8.1%																															

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	328	312			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	459	507			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	459	507			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	CO2フリー電気の導入	2025年度～	導入に向けた予算調整に加え 導入割合の調査中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	CO2フリー電気の導入を2025年度より計画 コスト増になる為、電力使用量削減の取組推進中
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
<p>■低燃費車両(HV/PHEV/EV/FCV)用電装部品の製造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低燃費車両向けの電気系ワイヤーハーネスに使用される高電流高圧端子などを生産することで低炭素社会づくりに寄与する。</li> <li>・当社の固有技術及び新工法技術と省エネ設備・省人化設備用い部品加工を行うことで、他者のエネルギー消費の削減や生産能力拡大を実現し低燃費車両の普及拡大に寄与する。</li> </ul>	<p>技術開発及び営業戦略の基軸を低燃費車両部品に特化した技術開発及び営業活動を実施。</p> <p>ワイヤーハーネス部品に加え、電池パック向け等の製品製造技術も構築し量産化開始</p> <p>生産性改善を実施し、原材料の歩留まり改善にも取組を行い仕入先のエネルギー消費の削減にも寄与。</p>
	<p>CO<sub>2</sub>削減貢献量</p>
	<p>53.4                      t-CO<sub>2</sub></p>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>自動車業界は自動運転や次世代エネルギーへの対応による車の進化に伴い、自動車に搭載される様々なパーツの高度化・システムの複雑化が進んでいる。弊社の生産製品はこれらのパーツやシステムに電源や信号を適切に伝える役割をに担っている。</p> <p>今後、自動車業界の電動化はますます加速していくことが予想され、車載バッテリーの大型化・高圧化が同時に進むと予想され、継続して同製品の生産、および、さらなる技術開発を行うことでスマートモビリティ社会の発展へ貢献する。</p> <p>併せてサーキュラーエコノミーの観点からも新材料・代替材の加工技術も構築し、有効な資源循環や環境配慮型の資材の利用を推進し多角的な改善を目指す。</p>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

<p>目標の進捗に対する自己評価</p>
<p>CO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠</p>

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	553	507				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	553	507				
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.434	0.419				
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	物流改善	積載効率改善、運送経路改善による契約便の本数削減	2025年度～	2025年度10月より週2便の 10t手配を廃止予定に向け 調整中
2	出張	公共交通機関の利用推奨 全社有車を更新(より燃費性能の高い次世代自動車)予定 PHV車の導入	2023年度～	2025年4月時点 HV車2台更新済み PHV車1台更新
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
	保有車輛の数	台	4	4				
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	4	4				
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	サーキュラー エコノミー	製品通箱、再生トレーの使用、再生紙の使用、パレット回収等 再生材含有品の物品購入	2024年度～	2024年度新規案件は 全て通箱(再利用)での 運用を実施
2	サーキュラー エコノミー	金属製品の製造工程で生じる廃金属(スクラップ)の再資源化	2024年度～	再生率の向上 再生率99%⇒99.5%に 向上
3	SBT	CO <sub>2</sub> フリー電気の導入	2024年度～	2025年度下半期計画
4	吸収源確保	森林の整備や、緑化の推進を目的とし募金活動実施等	2022年度～	2022年度より継続的 寄付活動を実施中
5	SDGs	産業と技術革新の基盤づくり、つくる責任つかう責任 技術開発によりよりCO <sub>2</sub> 排出量の少ない製造工法の開発と、 生産性改善、歩留まり改善、ムダ取り改善を推進	2022年度～	生産時に加工油を使用 しない環境にやさしい 溶液に切替を推進中